

## ～横浜市新型コロナウイルス感染症対策～

### 横浜市医師会及び横浜市薬剤師会と連携し

### 高齢者施設に対する医療支援等の更なる強化を図ります

横浜市では、これまで高齢者施設に対して、新型コロナウイルスワクチン前倒し接種や、陽性者が複数発生した際に、Y-AEIT（ワイエイト）が早期に立ち入り調査を行い、感染の広がりを確認するための幅広い検査や感染拡大の防止の取組を指導してきました。

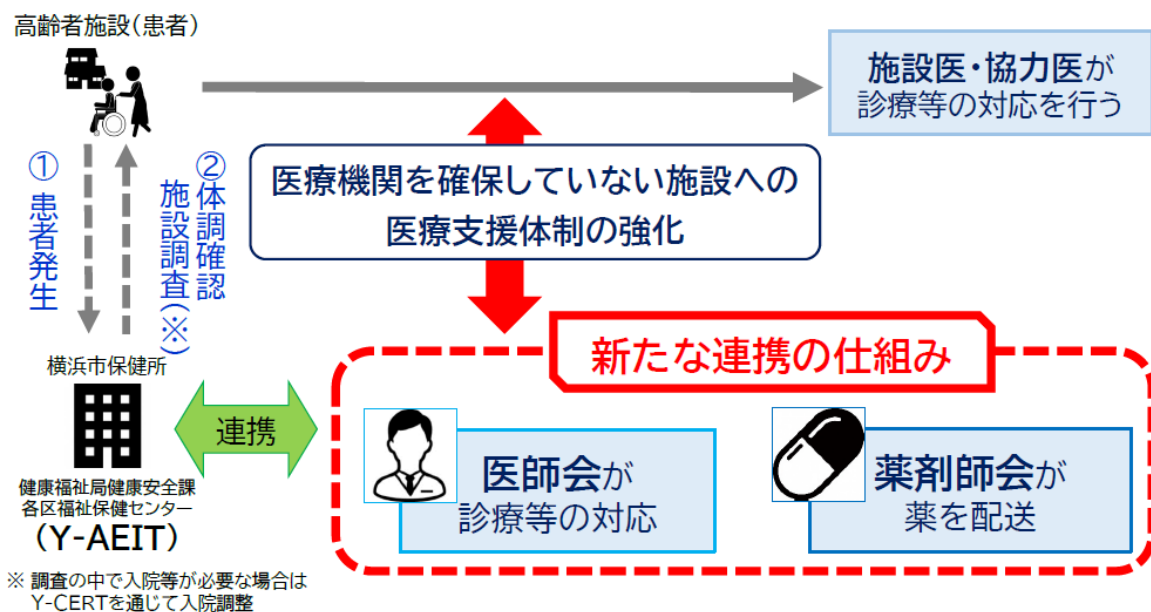
今般のオミクロン株の流行に際しては、高齢者の重症化リスクが高くなっており、重点的に対策を行っていくことが必要になっています。

そのため、横浜市では、横浜市医師会及び横浜市薬剤師会と連携し、高齢者施設への医療支援等の更なる強化を図ることにより、高齢者の重症化予防を図ります。

#### 高齢者施設に対する医療支援強化

「高齢者施設における新型コロナの往診等実施状況調査（令和4年4月14日実施）」の結果を踏まえ、コロナ対応が可能な医療機関を確保できない高齢者施設等の入所者に対して、横浜市医師会による診療が実施できる体制を構築します。また、横浜市薬剤師会と連携し、薬を配送できる体制を確保します。

あわせて、高齢者施設内で感染者が発生した際の医療機関との連携の手順等を具体的に示した手引きを作成・周知することで、高齢者施設と協力医療機関との更なる連携強化を支援していきます。



▲連携イメージ

## 《参考》高齢者施設における新型コロナの往診等実施状況調査<令和4年4月14日実施>

### 1 目的

- ア 高齢者施設における協力医療機関との連携状況の確認
- イ 今後の医療支援策等の検討

### 2 対象

市内高齢者施設等※ (1,056 施設)、回答率 86%

※特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、グループホーム等

### 3 アンケート項目・結果 (一部抜粋)

#### 【質問】

- ・協力医療機関がありますか、または配置医師がいますか → 「はい」 95%
- ・施設内でコロナ陽性者が確認された際、その協力医療機関の医師等に往診・派遣要請ができますか。 → 「はい」 71%

#### 【アンケート結果】

- ・多くの施設で協力医療機関等を確保している
- ・一方で、陽性者が発生した際に往診・派遣要請ができる医療機関を確保できない施設が一定程度あった。

#### お問合せ先

健康福祉局健康安全部健康安全課長 赤松 智子 Tel 045-671-2463

健康福祉局高齢健康福祉部高齢施設課長 松村 健也 Tel 045-671-3641

※「高齢者施設における新型コロナの往診等実施状況調査」については、高齢施設課長へお問い合わせください。